

徳島県立文学書道館 書道特別展

古武士の風格 富永眉峰の書と俳句



迷わずに書けという声寒天より

寒天より

2021年2月16日(火)~3月21日(日)

休館日 月曜日 開館時間 9:30~17:00
会場 1階 特別展示室・3階 書道美術常設展示室

■関連イベント

トーク「師・富永眉峰を語る」(申込必要・先着100人)

2月28日(日)13:00~14:00 講師 福永久美子(日展会友)

※無料。はがき、FAX、メールのいずれかに「眉峰展トーク」と明記の上、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を記入し、当館までお申し込みください。当館1階受付でも申し込みます。

展示解説(申込不要・観覧券必要)

①2月19日(金) ②3月13日(土) ①・②とも11:00~11:30

講師 佐藤美和(当館専門職員)

観覧料 一般520円(410円)／高校・大学生360円(290円)／小・中学生260円(200円)
()内は20人以上の団体割引料金。小・中・高校生は、土・日・祝日は無料。
高齢者(65歳以上)と各障がい者手帳をお持ちの方は半額。

主催 徳島県立文学書道館

後援 徳島県教育委員会 徳島新聞社 NHK徳島放送局 四国放送

言の葉ミュージアム 徳島県立文学書道館

〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1 電話 088-625-7485 FAX 088-625-7540
メールアドレス kotonoha@bungakushodo.jp ホームページ <http://www.bungakushodo.jp>

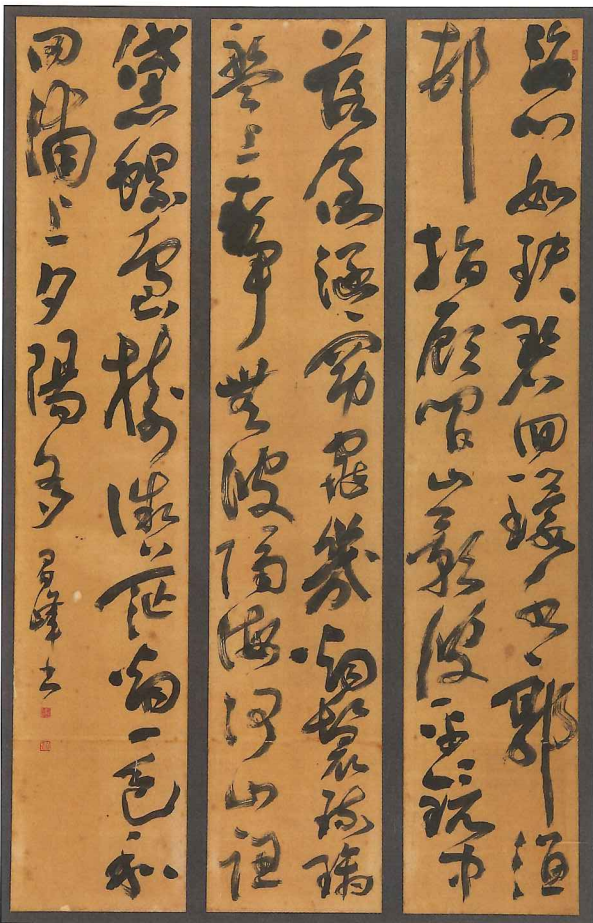
自作の句「迷わずに書けという声寒天より」

とみながびほう

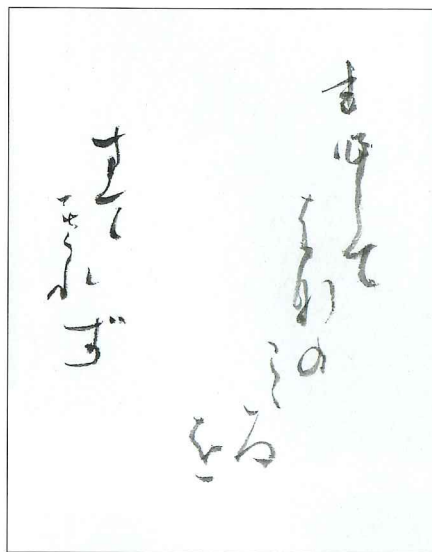
富永眉峰(1905~87年)は、戦後の草創期から徳島県の書壇を牽引し、1953(昭和28)年に48歳で県内在住書家初の日展入選を果たしました。炭山南木に師事し、師ゆずりの高い技法に裏付けられた秀麗かつ骨力に富む行草作品に魅力がありました。俳句は航標俳句会に所属し、句集を3冊、自筆の百句集を6冊出すなど精力的に活動しました。書家で俳人でもあった眉峰の書と俳句を紹介する没後初の回顧展です。



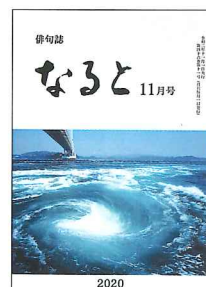
「眠雲聴泉」77歳 上杉文林堂蔵



七言律詩 制作年不詳 徳島県立小松島高等学校蔵



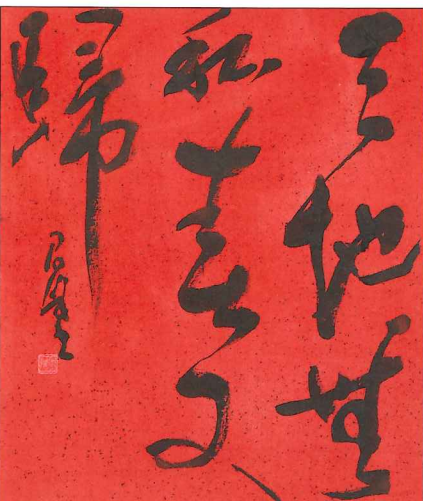
「書作して花の心を捨てきれず」
『自筆句集 八十路』より 79歳



題字を担当した県内俳句誌



徳島県議会表標 66歳



「天地無私春又帰」制作年不詳

■交通アクセス(JR徳島駅から)

徒歩 約15分

JR徳島駅西側のポッポ街を抜けて右折。踏切と助任川を越え、3つ目の信号交差点を右折して約300m。徳島中学校東隣。

バス

[徳島市営バス]7番乗り場「川内循環線(右回り)」に乗車。「吉野本町2丁目」で下車し徒歩で約5分。

[徳島バス]2番乗り場「前川経由」に乗車。「吉野本町2丁目」で下車し徒歩で約5分。

タクシー・自動車 約5分

国道192号線、藍場町交差点を北進。助任川を越え、4つ目の信号を右折して約300m。当館北側に駐車場があります。(乗用車43台・大型バス2台)

